

個人株主の皆さまにお届けする情報誌

NYK

plus

NYK プラス
vol.9 2011 Spring

【特集】モノ運び最前線・トレンドを運ぶ
航空貨物輸送は世界情勢に敏感反応
高速輸送でサプライチェーンを支える



左/クレーンでコンテナを積み込む(神戸港)
右/コンテナの中に積まれた救援物資



救援物資をコンテナからトラックに積み替え



救援物資が被災者に配布された(青森県)

Partner Interview

青森県 総務部 防災消防課
防災企画・対策グループ

主査
三上崇裕さん



地震発生から何日も経たない中、日本郵船の迅速な対応により、3月27日には八戸港に救援物資が到着しました。食料品や日用品などの供給が滞る中、Yamataiが八戸港に到着したときは、大変ありがたく勇気づけられました。その後、救援物資は、青森県が手配したトラック30台に積み替えて、県内のほか岩手県や宮城県へ運ばれました。現在は落ち着きを取り戻し、被災地を支援する側となって、県外からの一時避難者の受け入れ支援を行っています。今後も、被災地復興のため、できることはどんどんやっていきたいと考えています。

(写真協力:青森県)

ナトレイラーを用いた陸路での救援物資輸送も行っています。
当社では、引き続きグループを挙げた支援を行うとともに、一日も早い被災地の復興をお祈り致します。

Corporate Citizenship 日本郵船の社会貢献活動

貨物船で救援物資を輸送 モノ運びの本業生かす 東日本大震災の被災地支援

東日本大震災の支援に取り組み日本郵船グループでは、「モノを運ぶ」という本業を生かした救援活動にも取り組んでいます。

(社)日本経済団体連合会と日本郵船が青森県の協力を得て立ち上げた「第1回救援物資ホットライン便」には飲料水や食料品、乳児用品など、20フィートのコンテナ換算で24本分(約146トンの)救援物資が寄せられました。

救援物資は3月24日神戸港で船積みされ、モジュール船「Yamatai(邪馬台)」(日之出郵船(株)運航)にて青森県八戸港へ輸送されました。3月27日八戸港に到着後、青森県、岩手県、宮城県の各被災地に届けられました。

また、日本コンテナ輸送(株)のコンテ



八戸港に入港する「Yamatai」



航空貨物輸送は世界情勢に敏感反応 高速輸送でサプライチェーンを支える

航空機による貨物輸送は、船舶と比べ大量輸送はできませんが、高速輸送が可能です。企業のサプライチェーンを支える役割を担っており、輸送の変動は経済動向の先行指標とも言われています。今回は、景気トレンドをつかむ助けにもなる航空貨物輸送にスポットを当てていきます。



機内に積み込まれた貨物

小さな電子部品からヘリコプターまで

一般的には馴染みの薄い物流サービスかもしれませんが、身の周りには航空輸送されたアイテムが多くあることに気付かされます。

本マグロやサーモンなど鮮度が要求される魚介類、母の日のカーネーションなどの花き類、自動車部品、機械部品、エレクトロニクスパーツ、半導体製造装置、デジタルカメラ、スマートフォン、携帯電話、ノートパソコンなど。こうした貨物を世界中に届けているのが、日本唯一の国際線貨物専門航空会社の日本貨物航空(株) (Nippon Cargo Airlines Co., Ltd. ■ NCA)です。

スピードを生かして、時間を買い、マーケットの需要を逃がさないケースも多くあります。この場合はサプライチェーンに特徴が出てきます。

アパレル業界を席卷しているファストファッションの特徴は、企画、生産、物流、販売という一連のサプライチェーンを、市場の変化に迅速かつ柔軟に対応できるようにしている点にあります。季節や需要に応じた新製品をその都度、企画、生産し、短期間に売り切るので、低価格のアパレル製品は、大量に生産して運賃の安い海上輸送をメインに利用することが想定されますが、ファストファッションのブランドの中には、在庫を極力持たないという観点から戦略的に航空輸送を活用するケースもあります。

日本の空の玄関口である成田空港を拠点に世界8カ国15都市を結んでいきます。NCAの運航機材は遠距離輸送に適した省燃料型のボーイング社の747-400F型8機で、貨物の最大搭載重量は113トンで世界最大級です。航空貨物は、世界の景気動向によって輸送量が大きく変化します。リーマン・ショックの影響が残る2009年1月、日本からの輸出航空貨物量は前年同月比約60%減に落ち込みました。航空貨物が景気動向に敏感に反応して動いていることが分かる一例です。

もう少し航空貨物を見ていきます。



写真(写)から車体までさまざまなものを運ぶ



「季節モノ」と呼ばれる貨物では、春には米国西岸からアメリカカンチエリー。毎年11月にはフランスからボジョレ・ヌーボーが到着して空港が賑わいます。一昔前には夏の土用の丑の日に合わせて台湾から活鰻(かつまん ■ 生きウナギ)が輸入されていました。

イベント関連の貨物もあります。世界各地を転戦する自動車レースの車体、世界的なミュージシャンがワールドツアーで利用する舞台美術や楽器類、美術・芸術品などです。

このほか、被災地への救援物資なども航空貨物で運ばれています。

温度管理を徹底した「クールチェーン」も普及してきています。中でも医薬品輸送に対する関心は著しく高まっています。NCAは高性能保冷コンテナを利用した「NCAファーマケア」というサービスを提供しています。「医薬品」のうち、航空輸送を利用するのは、粉末など温度管理が求められる一部の原材料、液体や一部錠剤の製品、治験関連、検体関連の製品などです。いずれも付加価値が高く、徹底した温度管理とスピードが求められ、航空輸送に最適なアイテムです。最近では新薬開発に向けた治験関連の製品アイテムの輸送に注目が集まっています。

小 さな電子部品から10メートルを超えるような長尺貨物やヘリコプターまで。貨物機で運ばれるモノは実



上／ヘリコプターや航空機のエンジンも運ぶ
左／船と同様コンテナもある
下／貨物を満載した田空港を飛び立つ



上／機体側面のサイドカーゴドア 下／機首が上方に開口するノーズカーゴドア



貨物機のメインデッキ

迅速な引き渡しへ貨物位置も十分考慮

に多岐にわたっています。そして、その輸送を支えるために数多くの専門スタッフがそれぞれの業務に携わっています。それでは、輸出される貨物がどのようにオペレーションされているか紹介しましょう。

営業スタッフが顧客からお預かりした貨物は、トラックで空港に到着します。

貨物の積み降ろしや保管などを行う施設である上屋（うわや）内で、貨物を積み込むスペースの予約情報を基に貨物の状態、個数、仕向け地（輸出先）、搭載予定フライトの確認を行います。その後、専門スタッフが作成した積み付け指示書を基に、実際の貨物の積み付けが行われます。形状や重量を考慮しながら、パレット

トと呼ばれる搭載器具に、積み付けていきます。

貨物には、悪天候による水濡れなどのダメージを防止するため、全体にビニールを被せます。さらに、輸送中に貨物が動

かないようネットでしっかりと固定していきます。

航空機にはさまざまな重量の貨物が搭載されます。運航中の航空機のバランスや到着空港での顧客への貨物の迅速な引き渡しを考慮して、どの貨物をどの場所に配置するかも決めます。

航空貨物業界には航空会社だけでなく、空港会社、税関、荷主、物流業者など多くの専門スタッフが携わっています。安全運航を大前提とし、お客様からお預かりした貨物を迅速かつ確実に、高い品質で輸送することが航空貨物輸送にはとても重要です。

航空貨物輸送は、船舶による輸送に加えて、総合物流サービスを提供する日本郵船グループの一翼を担う輸送モードです。



豪華客船「飛鳥II」



チーフパーサーの仕事について語る三上さん



飛鳥IIの玄関口「アスカプラザ」

接客・バックオフィス業務の統括役



三上明子さん

客船「飛鳥II」
チーフパーサー



日本郵船の子会社、郵船クルーズが所有・運航する豪華客船「飛鳥II」。ワンナイトから100日間にわたる世界一周まで、さまざまな船旅を提供しています。

今年には飛鳥クルーズが初代「飛鳥」の就航から20周年を迎える年で、これを記念した世界一周クルーズや企画クルーズを展開中です。

客船は世界中を移動する洋上ホテルのようなもの。その「飛鳥II」で、乗客・乗組員が安全に、快適に船内生活を送るための調整役となるのがパーサーです。

業務は大きく分けて二つ。ひとつは、寄港地や船内イベントの予定などの各種案内や相談受付、チェックイン、チェックアウト、精算業務などホテルでいうところのレセプション。もうひとつは、出入国管理

や乗組員の総務、船内の事務管理を行うバックオフィス業務です。

三上明子さんは、このパーサー部門を率いるチーフパーサー。2006年の秋、女性として初めて就任しました。仕事は「パーサーを統括するとともに、全体のバランスを見た上で各種業務が機能するように調整すること」。

「飛鳥II」には800人もの乗客と470人の乗組員が乗船します。チーフパーサーは、バックオフィス業務を統括する「何でも屋」であり、乗客と24時間接する「飛鳥II」の顔でもあります。

精神的にも体力的にもハードな業務ですが、乗客のため、さらには乗組員のために、昼夜を問わず笑顔で対応しています。

NCA乗員訓練センター

日本唯一の国際線貨物専門航空会社の日本貨物航空(株)(Nippon Cargo Airlines Co.,Ltd.=NCA)は日本郵船グループの航空運送事業を担う会社です。NCA乗員訓練センターは、自社パイロットを最新鋭施設で集中的に訓練・審査するために設立されました。

最新鋭シミュレーターで安全運航のため今日も訓練

NCAでは、それまでパイロットの訓練・審査を外部に委託してきましたが、自立化を目的とし、自社訓練体制を確立することとしました。従って、効率的かつ安全の為に投資として、教官、訓練カリキュラムを社内を整え、国土交通省の承認を得た上で、2008年12月に「乗員訓練センター」を同社のハブである成田国際空港の程近くに開設しました。同センターでは自社運航の

ボーイング747-400F型の自社パイロット、整備士の訓練や審査を行う目的で運営されており、パイロットがコックピット内での操作手順を習得するために用いられるフラット・パネル・トレーナー、空中での機体の操縦反応を3次元(縦揺れ、横揺れ、偏揺れ)の動きで体験でき、G(重力)も再現することができると高性能な機種である、フル・フライト・シミュレーター(FFS)も設置されて

います。パイロットに求められる能力は、通常の操縦技術はもとより、緊急時や悪条件の中でも冷静に安全に運航できることです。FFSは危険な状況を陸上で再現し、その対処方法を繰り返し、訓練できるものです。例えば、成田空港からの離陸を設定すると、前方のスクリーンには成田空港の滑走路が再現され、スピードを上げると

Gを感じ、機首がゆっくり揚がり、景色も変化していきます。

教官が「離陸直後にエンジン火災発生」というように設定すると、実際にトラブルが発生した時と同じように揺れ、計器類が作動します。訓練中の機長は冷静に状況を判断し、副操縦士と連携しながら、すばやく対処しなければなりません。厳しい教官が見守るなか、安全運航を目指し、機長でさえ「背中や手に汗をかく」訓練が今日も成田で繰り返されているのです。

パイロットは毎年、定期訓練(学科訓練とシミュレーター訓練)と定期審査(路線審査とシミュレーター審査)を受けることが義務付けられています。パイロットの訓練は定期訓練だけで年3回(2時間/回)。訓練センターでは12人の教官が約

170人のパイロットに対し、年間500回程度の定期訓練を実施しています。



NCA乗員訓練センター



自社運航機のcockpitを再現



フル・フライト・シミュレーター

● 2010年10月～2011年3月 ●

■ 空気潤滑船など取り組み評価、国交大臣賞を受賞

フジサンケイグループ主催の「第20回地球環境大賞」で当社は、「国土交通大臣賞」を受賞しました。当社が積極的に実施してきた①空気潤滑システム搭載モジュール運搬船「Yamatai (邪馬台)」「Yamato (大和)」の実証実験②運航管理情報統一システム“NYK e-missions”の取組が高く評価されたためです。地球環境大賞での当社の受賞は4度目となります。

■ 日本郵船歴史博物館の入館者、30万人達成

日本郵船歴史博物館（横浜市中区海岸通）の入館者数が累計で30万人に達しました。30万人目の入館者となった横浜市在住の川島秀之さんご一家には、清水繁館長から記念品と副賞を贈りました。日本郵船歴史博物館は、1993年12月の開館以来、年間約3万人が訪れています。



■ 中国・広州の完成車専用ターミナル運営会社に出資

当社は、中国の広州・南沙港で完成車専用ターミナルを運営する広州港南沙汽車碼頭有限公司の株式12.5%を取得し、同社に関する合弁契約を中国側株主3社と締結しました。今回の出資により当社は、大連、天津、上海を含めた中国4大港すべてのターミナル運営会社へ資本参加を果たしたことになります。

■ ノルウェーのシャトルタンカー会社への出資決定

当社は、ノルウェーのクヌツェン・オフショア・タンカーズ社 (Knutsen Offshore Tankers ASA、以下KOT社) への資本参加を決定しました。同社の新株を引き受けることで、同社総株式の50%を取得しました。これに伴い、KOT社は社名を「クヌツェン・エヌワイケイ・オフショア・タンカーズ社 (Knutsen NYK Offshore Tankers AS)」に変更しました。今回の事業参加は、DPSなどの当社の海洋事業ノウハウを活用できる領域で、この分野への参画は日本の海運会社として初めてとなります。

■ 邦船社初、中国水先案内人の乗船研修

中国引航（水先案内人）協会に協力する当社は、「中国水先案内人乗船研修プログラム」を開始しました。邦船社で、このような研修プログラムを実施するのは初となります。同プログラムは、中国の水先案内人に、海技や水先案内業務に関する知識や経験を積んでもらい、能力向上につながる機会となることを目的としています。

■ ロシア・ソブコムフロット社長が当社訪問

ロシア最大の国営船社ソブコムフロット (OAO Sovcomflot、以下ソブコム社) のセルゲイ・オトヴィチ・フランク (Sergey Ottovich Frank) 社長は3月29日、当社を訪問し宮原耕治会長、工藤泰三社長らと面談しました。面談では、将来の新規LNGプロジェクトなどについて意見交換。LNG船それぞれ2隻を共同保有し参画しているサハリンIIプロジェクト、インドネシア・タンゲーププロジェクトでの両社間の協力関係を一層強化することを確認しました。また、ソブコム社には当社保有のLRII型タンカー1隻、MR型タンカー1隻の船舶管理を委託しています。

■ 新中期経営計画、新ロゴを発表

当社グループは、2011～13年度までを対象にした新中期経営計画「More Than Shipping 2013」を発表しました。同中計は「アジアの成長を世界へ繋ぐ」をテーマに、従来の海運業+αの戦略により更なる成長を目指し、13年度には連結売上高2兆3000億円、経常利益1300億円を見込んでいます。詳細は当社ウェブサイト (<http://www.nyk.com/profile/plan/>) をご参照ください。また、新中計発表に合わせて、「NYKグループ統一ロゴ (通称ダブルウイング)」のデザインもリニューアルしました。2つの翼をベースに、カラーを「NYKブルー」1色に統一しました。



■ 「NYK Container Line (株)」に社名を変更

当社グループのNYK Line Japan (株) (本社:東京都港区、代表取締役社長:楢岡孝武) は、東京船舶 (株) (以下「東京船舶」) から当社への事業譲渡に合わせて、2010年11月1日付で「NYK Container Line (株)」に社名を変更しました。東京船舶のアジア域内でのコンテナ船運航などのノウハウを引き続き生かし、コンテナ船輸送サービスをより一層充実させてまいります。

■ 東日本大震災復興へ救援物資を無償輸送

東日本大震災で甚大な被害が発生した東北、関東地方への復興救援物資の無償輸送を行っています。当社運航船が寄港する海外の港から国内の港までの輸送範囲内で、コンテナ船を使った物資輸送を提供。詳細は当社ウェブサイト (<http://www.nyk.com/>) をご覧ください。地震により被災された地域の皆さまと関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

NYKのある街 ◆◆◆

Bangkok バンコク

タイ王国



寺院「ワット・アルン」の仏塔（手前）。右奥はチャオプラヤー川

東南アジア諸国連合（ASEAN）の中核国、タイ王国。インドシナ半島のビジネスの中心地としてだけでなく、自動車などの世界各国への輸出拠点としても注目を浴びています。2007年には、日本との間で経済連携協定（EPA）が発効しました。

日タイ関係の始まりは、15世紀初頭にさかのぼるといわれています。アユタヤの町には日本人街も形成されていました。約600年続く両国の交流を背景に、タイに進出する日本企業は数千社に上ります。日本郵船は、その首都バンコクに「NYK Logistics(Thailand) Co.,Ltd.」などの拠点を置いています。



NYK Logistics (Thailand) Co.,Ltd.が入るオフィスビル

海事用語 AtoZ

本誌の中でご紹介した記事の中から、わかりにくい専門用語を解説します。

【サプライチェーン】〈さぷらいちえん〉

▶3ページ

ビジネス活動の基本である原料や材料の調達から製造・販売・物流を経て最終ユーザーに至るまでを一つの流れと考え、このプロセスを一貫管理すること。その結果、どこで価値が生まれ、どこにムダがあるかが分かるので、余剰在庫を削減したりして、適正な生産・物流体制を構築できる。サプライチェーンの業務効率を高める経営戦略をサプライチェーンマネジメントという。

【LR型タンカー】〈えるあーがたたんかー〉

▶13ページ

ナフサやガソリンなど原油を精製した石油製品を輸送する最大のタンカー。原油タンカーと区別するためプロダクト・キャリアなどと呼ばれる。プロダクト・キャリアには、積高の大きいものからLR、MR、SR型がある。「LR」とはLong Rangeの略で、船の大きさによってLRⅡ型（8万～12万重量トン前後）とLRⅠ型（6万～8万重量トン前後）に分けられる。

【シャトルタンカー】〈しゃとるたんかー〉

▶14ページ

海底油田などで生産された原油を洋上石油生産施設から積み込み、陸上の製油所や原油貯蔵基地にシャトル輸送するタンカー。潮流や強風などの影響を受ける洋上で安全に荷役するため、定位置を維持するダイナミック・ポジショニング・システム（DPS）や、船首部分で荷役するバウローディングシステムを装備。港湾で荷役する通常のタンカーに比べ、運航には高い技術力が要求される。

【DPS】〈でいーびーえす〉

▶14ページ

自動船位保持装置（ダイナミック・ポジショニング・システム、DPS）。洋上で作業や荷役を行う船舶に搭載され、海底に船体を固定できない大水深海域などでも本船を一定の位置にとどめることができる。GPS（全球測位システム）や音響測位システムなどで割り出した本船の位置情報と潮流、風向などから、本船をその場にとどめるのに必要な推進力とその方向を計算し、推進器を自動的にコントロールして位置を調整する。

【水先案内人】〈みずさきあんないにん〉

▶14ページ

船舶が港湾に入出港する際に乗船して、船長に助言を行う専門家。パイロット、水先人とも呼ばれる。その港、水域の状況に精通しており、船舶の安全で効率的な入出港、航行をサポートする。これまで日本では主に船会社で船長として活躍した人が水先案内人となっていたが、船長や航海士として実務経験がない人にも水先案内人になる道が開かれた。早ければ今年、日本で20代の水先案内人が誕生する。

阿波おどり・関門海峡花火クルーズ ●
2011年8月9日(日)横浜発～16日(日)横浜着 旅行代金 385,000円～1,750,000円

鳥羽・熊野大花火クルーズ ●
2011年8月16日(日)横浜発～19日(日)横浜着 旅行代金 156,000円～750,000円

飛鳥クルーズ就航 20周年記念

HULA ON ASUKA II
2011年8月19日(日)横浜発～21日(日)横浜着 旅行代金 110,000円～400,000円

夏休み 横浜フナイトクルーズ ●●●
2011年8月21日(日)横浜発～22日(日)横浜着 旅行代金 50,000円～180,000円

飛鳥クルーズ就航 20周年記念

連続乗船プラン

夏の尾張 名古屋クルーズ ●●●
2011年8月22日(日)横浜発～25日(日)横浜着 旅行代金 149,000円～600,000円
※横浜発～名古屋着、名古屋発～横浜着の乗船も可能

夏の津軽・函館クルーズ ●●●
2011年8月25日(日)横浜発～27日(日)函館着 旅行代金 103,000円～410,000円
※横浜発～青森着の乗船も可能

初秋の若狭・博多フナイトクルーズ ●●
2011年9月12日(日)敦賀発～13日(日)博多着 旅行代金 49,000円～180,000円

初秋の瀬戸内海・駿河クルーズ ●●
2011年9月19日(日)博多発～23日(日)横浜着 旅行代金 198,000円～800,000円
※博多発～清水着または神戸着、神戸発～横浜着または清水着、清水発～横浜着の乗船も可能

ノスタルジック北京・大連クルーズ ～「坂の上の雲」ゆかりの地をたずねて～
2011年9月23日(日)横浜発～10月5日(日)横浜着 旅行代金 550,000円～2,350,000円
※神戸発～横浜着の乗船も可能

飛鳥クルーズ就航 20周年記念

A-styleクルーズ ～秋彩～
2011年10月7日(日)横浜発～9日(日)横浜着 旅行代金 110,000円～500,000円

秋の横浜・神戸フナイトクルーズ ●
2011年10月9日(日)横浜発～10日(日)神戸着 旅行代金 52,000円～250,000円

飛鳥クルーズ就航 20周年記念

アニバーサリークルーズ
2011年10月26日(日)横浜発～31日(日)横浜着 旅行代金 250,000円～1,250,000円

飛鳥クルーズ就航 20周年記念

秋の日本一周・韓国クルーズ ～日本の世界遺産の地を巡る 秋編～ ●●
2011年10月11日(日)神戸発～25日(日)神戸着 旅行代金 600,000円～2,700,000円
※横浜発～横浜着または金沢着または網走着、神戸発～金沢着または網走着、網走発～金沢着、金沢発～佐世保着または神戸着または横浜着、佐世保発～神戸着または横浜着の乗船も可能

2012年 アジアグランドクルーズ ●
2012年1月28日(日)横浜発～2月29日(日)横浜着 旅行代金 1,220,000円～7,900,000円
※神戸発～神戸着の乗船も可能

2012年 世界一周クルーズ ●
2012年4月2日(日)横浜発～7月7日(日)横浜着 旅行代金 4,250,000円～24,500,000円
※神戸発～神戸着の乗船も可能

連続乗船プラン 「夏の尾張 名古屋クルーズ」からの連続乗船プラン特別代金の設定があります。

- スイートルーム体験キャンペーン ● ハッピーファミリークルーズ 50 ● フル得キャンペーン
- バルコニー体験キャンペーン ● ハッピーファミリークルーズ ● ダブル乗船キャンペーン
- 早期申込割引 ※●を適用の場合、株主優待割引券はご利用いただけません。ご了承ください。

※本スケジュールは2011年5月現在のものです。

お問い合わせ | 郵船クルーズ | TEL 045-640-5301 FAX 045-640-5366
http://www.asukacruise.co.jp/

悠久の歴史にふれる旅 「坂の上の雲」ゆかりの地たずねる



今年の秋のご旅行なら、飛鳥II
「ノスタルジック北京・大連クルーズ」
「坂の上の雲」ゆかりの地をたずね
てはいかがでしょうか。司馬遼太郎
の小説『坂の上の雲』の舞台となっ
た地をたずねる、興味深いコースです。
歌人・正岡子規と軍人の秋山好
古・正之兄弟の出身地である愛媛県
松山には、激動の時代を生きた主人
公たちゆかりの地が点在。長く日本
の統治下にあった中国の大連では、
日露戦争最大の激戦地、203高
地のある旅順への無料ツアーをこ用
意しています。さらに天津でも、北京
への無料ツアーにご招待いたします。
この機会に、悠久の歴史を感じさ
せる「ノスタルジック・チャイナ」への
旅をお楽しみください。



NYKと 香辛料のはなし

粉末や実、葉など香辛料はいろいろな形で日本へ運ばれてきます。その加工度合いによって梱包方法もさまざま。麻袋やポリプロピレン袋、紙袋などそれぞれに合った梱包材を使っています。NYKではコンテナ船で、こうした香辛料の輸送を行っています。



日本郵船